

科目名 (科目番号)		看護学セミナー (時間割参照)	教員名	看護学科教員 他学科教員	学科等	看護	必修	履修年次	4
					曜日・時限等	時間割表参照	単位数		1
					オフィスアワー			各教員の研究室の掲示を参照	
授業概要		これまでの看護学の学修において、各専門看護領域の主軸となっている学習内容を再度確認し、看護学の各領域にわたる必要な知識と、臨地において活用される技術との統合を図ることを目的とする。							
目的・目標		目的:4年間学修した看護学の知識の集大成を図る。 目標:各領域の看護学の知識を再確認し、知識を定着させることができる。							
準備学習		毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること							
授 業 計 画	回	授業項目	到達目標・学習内容						
	1	基礎看護学	到達目標:看護の基本となる概念について再確認し、理解する。 学習内容:看護の本質・看護の対象・人間の生活と健康、看護過程、看護倫理、看護管理など看護の基本について学習する。						
	2	基礎看護学	到達目標:基本的な看護技術について主要な内容を再確認し、理解する。 学習内容:共通基本技術、日常生活援助技術、診療に伴う援助技術について学習する。						
	3	基礎看護学							
	4	人体の機能	到達目標:生体機能の正常と破綻の仕組みを再確認し、疾患を有する人への対応を総合的に考えることができる。 学習内容:体内環境の変化に対する内分泌系、自律神経系、免疫系を中心とする生体反応とそれらの相互作用を学習する。						
	5	成人看護学	到達目標:病態と治療の基礎知識を基盤に、成人期にある人の特徴を捉え、周手術期看護・救急看護・慢性期の看護の知識と技術を統合し理解する。 学習内容:成人各期の健康保持や疾病予防、成人の健康問題に応じた看護、各機能障害のある成人への看護について主要な内容を学習する。						
	6	成人看護学							
	7	成人看護学							
	8	老年看護学	到達目標:高齢者看護に必要な基礎的知識や技術を再確認し、理解する。 学習内容:老年看護に関連した統計と権利擁護、社会資源、加齢に伴う変化や健康障害のある高齢者の看護について学習する。						
	9	老年看護学							
	10	精神看護学	到達目標:精神看護に必要な基本的知識や技術を再確認し、理解を深める。 学習内容:精神看護の動向と医療・保健・福祉に関する制度や法律ならびに看護活動の実際、代表的疾患とその精神障害により「生きづらさ」を抱える人と家族を含む看護を学習する。						
	11	小児看護学	到達目標:小児看護の特徴や必要な知識・技術を再確認し、理解する。 学習内容:子どもを取り巻く社会環境と法律や制度・子どもの成長発達・日常生活指導上の問題や、代表的な疾患およびさまざまな状況にある子どもと家族の看護について学習する。						
	12	母性看護学	到達目標:母性看護に必要な基礎知識及び援助方法について再確認し理解する。 学習内容:母性看護に関わる法律や制度および母子保健統計に関する動向を確認し、周産期における看護を中心に、女性のライフサイクル各期の健康課題に対する看護について学習する。						
	13	地域・在宅看護論	到達目標:地域・在宅看護の特徴や必要な知識技術について再確認し、理解する。 学習内容:地域・在宅看護の目的や役割、関連する法律や制度、社会資源の活用、地域包括ケアシステム、ケアマネジメントについて学習する。						
	14	公衆衛生看護学	到達目標:個人や家族、地域の健康と生活の質向上のための公衆衛生看護活動について再確認し、理解する。 学習内容:公衆衛生看護の目的や対象、発達段階・健康レベルに応じた保健活動について学習する。						
15	看護と社会保障	到達目標:看護の対象者となる高齢者や障害者などに関する社会福祉制度を再確認し、理解する。 学習内容:看護に関係する社会保障制度について学習する。							
成績評価の方法・基準		成績評価は試験により行います。可否基準については別途示します。(対面・オンライン共通)							
教科書		『準備学習のポイント』を参照してください。							
参考図書		同上							
教員からのメッセージ		4年間の総まとめです。各専門領域の担当教員が、知識として重要なこと、医療従事者として大切なことを凝縮して講義します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。							